

1 平成28年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

(1) 財政の動向

平成28年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、527億7,500万円であり、平成27年度の550億4,100万円に比べ、22億6,600万円、約4.1%減額となっている。

主な減額の要因としては、平成27年度までに行ってきた市民総合体育館建替事業や既存小学校エアコン整備事業などの大型事業が終了したことによるものである。

また、6月に行われた平成28年流山市議会第2回定例会において、市内自治会館の備品購入を助成するための一般コミュニティ助成事業助成金が確定したこと、歳入歳出それぞれ250万円を追加したことや前年度からの繰越金が確定したこと、9月末の予算現額は、545億8,228万8千円となっている。

なお、9月末現在の予算現額を昨年と比較すると、歳入では、つくばエクスプレス沿線整備事業の推進により、納税義務者や新築家屋が増加していることから、市税が6億5,416万4千円の増加となっている。一方で、スポーツフィールドの売却に係る収入がなくなったことから、財産収入が7億1,470万6千円減額したこと、及び市民総合体育館建替事業の終了などに伴い、市債の発行が24億8,620万円減額したことなどにより、昨年9月末現在と比べて20億5,997万8千円の減額となっている。

また、歳出においては、子育て環境の充実を図るため、私立保育所の整備を進めていることから民生費が24億6,327万8千円の増額となっている。一方で、大型事業の終了に伴い土木費が37億8,401万7千円減額したこと、及び教育費が6億714万8千円減額したことなどにより、昨年9月末現在と比べて20億5,997万8千円の減額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。